

さつきやま魂

学校が再開しました

崎山中学校だより
5月14日 第3号
文責 校長 山下



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約3週間の臨時休業でしたが、今週から学校を再開しました。休業期間中、子どもたちはどのように過ごしていたのでしょうか。課題を行うことは当たり前ですが、崎山の今年のキーワードの一つでもある「主体性」が試された3週間だったことと思います。

休業中、心温まるニュースがいくつかありました。自粛要請が出される中、外出していたことに批判が相次いだクルーズ船コスタアトランチカの乗組員を心配して、「乗組員の皆さんが少しでも安らかな気持ちで過ごして、お元気で一日も早く故郷に帰れるように祈念しております。」という手紙を送った長崎市の介護福祉士の女性。医療従事者を励ます動画を投稿したスポーツ選手。マスク不足を懸念して、自分で手作りマスクを製作し、寄付したお年寄り。など、どれも何か自分ができることはないかと考え、行動に移したという内容のものでした。

また、先日一人2枚ずつマスクが配付されました。これは、奈良県で靴下製造を行っている五島出身の方から寄贈されたものです。マスクがなくて困っている五島の子どもたちのために送ってくださいました。今後も感染拡大防止のため、行事等が変更になる場合もあります。自分の命を守るということが最優先ですので仕方ありません。子どもたちには、自分の将来に向けての目標や学習への目標、身近な中総体に向けての目標などを見失うことなく、自分がやらなければならぬことや自分のできることを主体的に実行し、有意義な生活を送るように努めてほしいと願っています。自分の思いは自粛してほしくありません。

<寄贈された方からのメッセージ>

都会でもマスク不足が続く、五島まで行き渡るまでにはかなり遅くなるのではないかと思います。靴下の機械で代用のマスクができることがわかり、早速作って送ることを思いつきました。微力ですが、五島の子どもたちを守りたいという思いと、子どもたちの役に立つことを嬉しく思います。



<マスクを着用して・・・>

五島市中総体について

本日の長崎新聞にも掲載されていましたが、5月24日に開催予定であった五島市中総体が延期されました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、6月14日・15日の2日間で開催予定です。

開催に伴い、開催基準が中体連本部から示されました。特に、無観客での競技実施など、厳しい制限もあります。感染拡大防止のために、保護者はもちろん、地域の方々にも、御理解・御協力をお願いいたします。主な開催条件、及び崎中の競技日程は次のとおりです。

【開催条件】

- (1)五島市内に感染者がいない。
- (2)大人数の集まりを避けるため、2日間の分散開催とする。
- (3)保護者等の一般応援者の参加を認めない。

【競技日程】

- 14日 柔道競技(福江武道館・午前)
- 剣道競技(福江武道館・午後)
- バスケットボール競技 (富江中体育館)
- 15日 ソフトテニス競技 (中央公園庭球場)

今月中は、対外試合も禁止されていますが、子どもたちは、感染症対策を講じながら中総体目指して頑張っています。保護者・地域の皆様には、当日会場での応援ができませんが、各家庭での激励をお願いします。

崎山中ホームページについて

崎山中学校のホームページを開設しています。昨年度「検索しても出てこない」という声が聞かれました。下のQRコードも作成しておりますので、ぜひご覧ください。学校の年間計画や子どもたちの活動の様子等をタイムリーに掲載しています。

崎中ホームページhttp://sakichu.in.goto-np.ne.jp/



パートナーは自分のためにも

テニスでダブルスを組むとき、「私が、あなたのためにこう動いてあげたんだから、あなたも私のためにこう補ってくれなくては困る。」などという意識をしたら、必ずといってよいほど、そのペアの球筋は乱れるから不思議です。パートナーの動きを見て、それを補うように動くのは、常に「私自身」の問題であって、パートナーである「あなた」がどんな考えを持とうが、どのように動こうが、関係のないことです。

つまり、テニスに限らずパートナーは、自分のためにいると思うのではなく、むしろ、「パートナーのために自分はいるのだ。」という考え方をすることが大切なのです。(心を育てるより)